

文教常任委員会資料

令和3年10月21日

(2021年)

教育委員会事務局学校教育課

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

令和3年度全国学力・学習状況調査（小学6年・中学3年）の結果について

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 概要

- (1) 調査実施日 令和3年5月27日（木）
- (2) 調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒
- (3) 調査内容

ア 教科に関する調査

- ・国語、算数・数学で実施
- ・国語、算数・数学において、「主として『知識・技能』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」とを一体化した問題

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(4) 受検者数

ア 小学校	実施学校 18,857 校	国語	児童数 993,975 人
		算数	児童数 994,101 人
イ 中学校	実施学校 9,320 校	国語	生徒数 903,157 人
		数学	生徒数 903,253 人

3 結果の活用

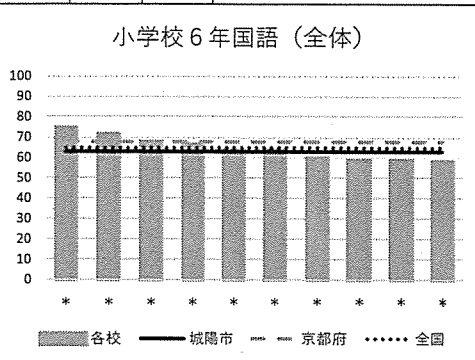
- (1) 各学校においては、調査結果を踏まえ、個々の児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、教育指導等の改善に向けて計画的に取り組んでいく。
- (2) 城陽市教育委員会においては、調査結果を踏まえ、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、市内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を推進する。

4 小学6年（国語）の結果

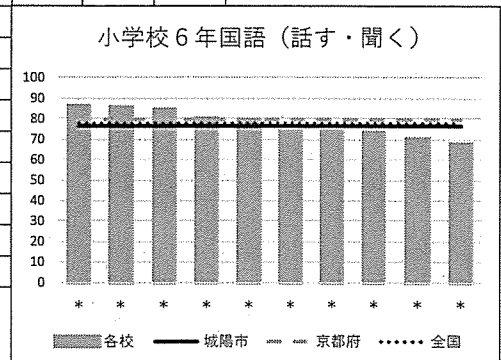
- ・城陽市の平均は、京都府平均及び全国平均を下回る結果となりました。また、領域においては「書く」「読む」について課題が見られました。
- ・正答率別推移で見ると、小学4年時に受検した平成31年度京都府学力診断テストと比較すると、高位層の割合が減少し、低位層の割合が増加しています。
- ・国語科の授業では、問題解決を通して得た知識や考え方をその単元だけの理解や活用だけに留まらず、全ての学習活動において子ども達一人一人が「言葉による見方・考え方」を働かせることができるように授業改善を図ることが求められます。

(1) 結果の状況

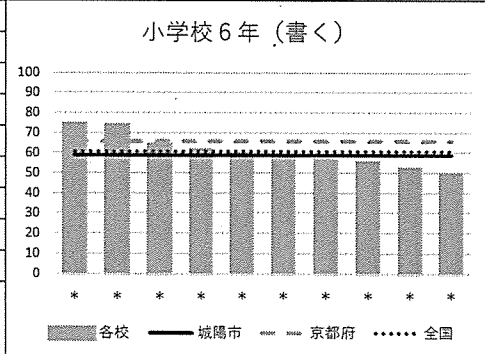
小学校6年国語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	73	63	68	64.7



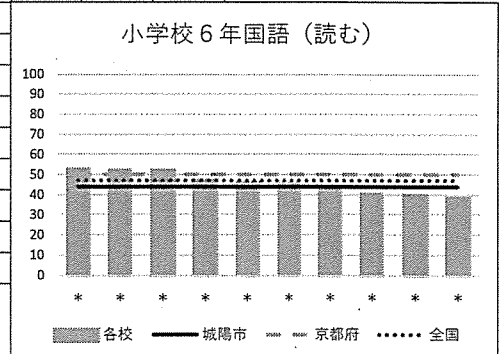
小学校6年国語（話す・聞く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	84.2	76.4	79.7	77.8



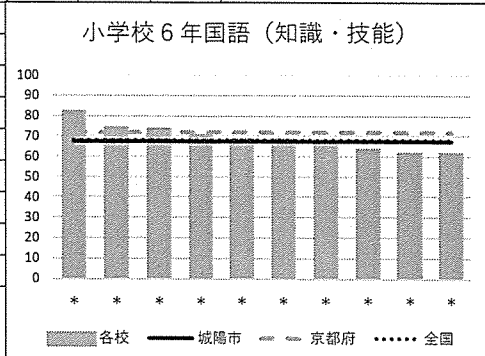
小学校6年国語（書く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	72.2	59.1	65.8	60.7



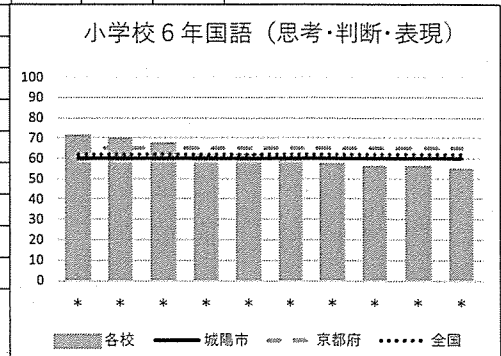
小学校6年国語（読む）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	50.5	44.1	49.9	47.2



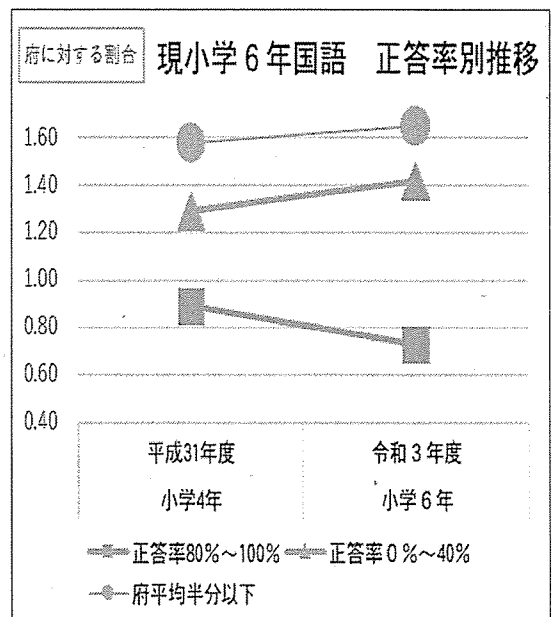
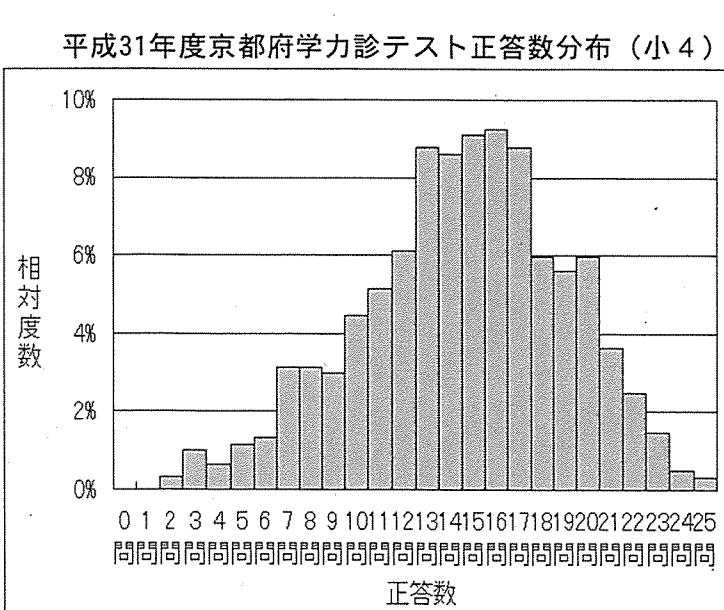
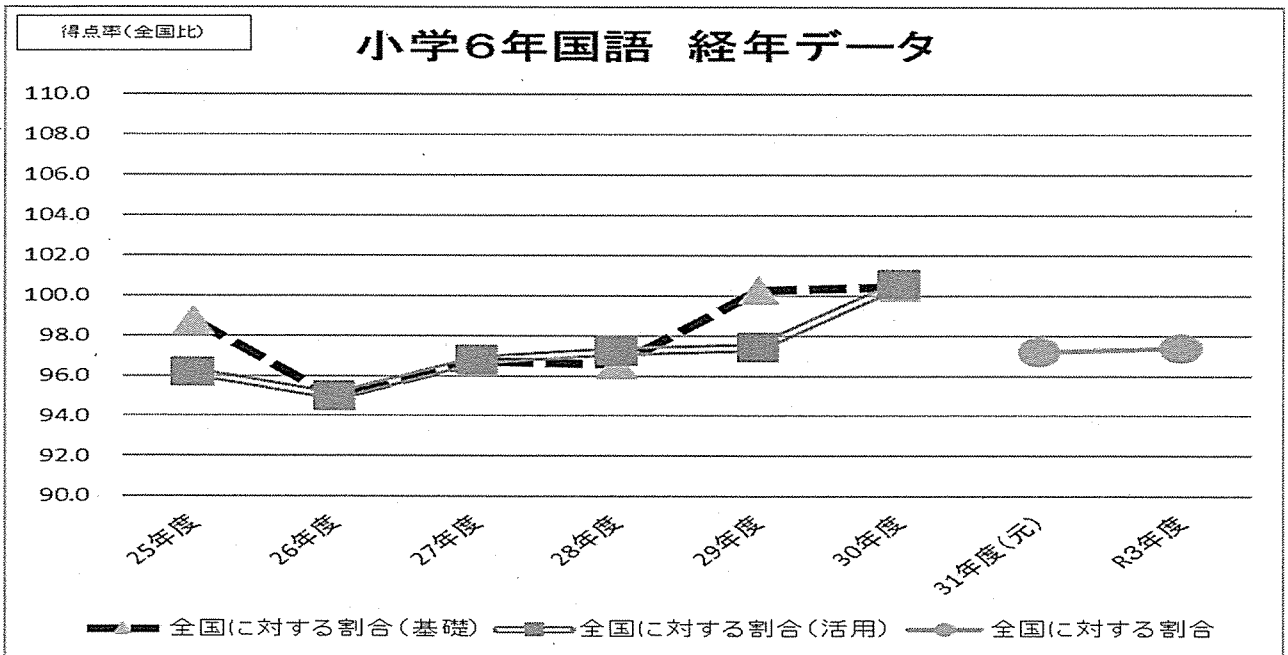
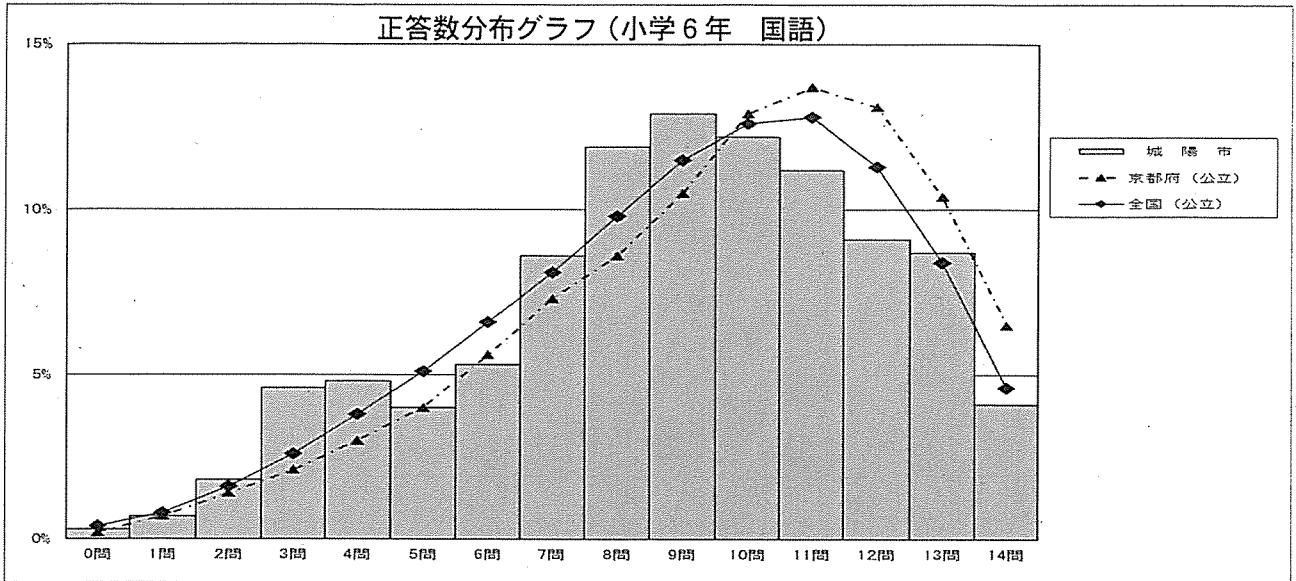
小学校6年国語（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	80	67.4	72	68.3



小学校6年国語（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68.6	60	65.1	62.1



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移



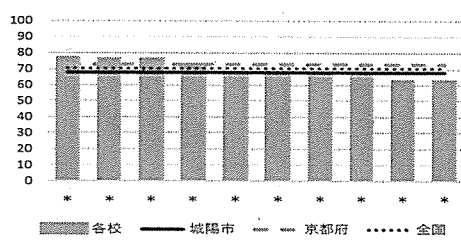
5 小学6年（算数）の結果

- ・城陽市の平均は、京都府平均及び全国平均を下回る結果となりました。また、領域については、「図形」「思考・判断・表現」について課題が見られました。
- ・正答率別推移で見ると、小学校4年生に受検した平成31年度京都府学力診断テストと比較すると、高位層の割合が減少し、低位層の割合が増加しています。
- ・立式や回答の正誤だけに注目するのではなく、図式化や説明の記述などの思考過程を大切に、「振り返り」を充実させ、メタ認知の育成に努めることが求められます。

(1) 結果の状況

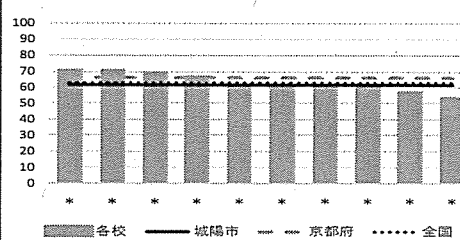
小学校6年算数（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	75	68	73	70.2
*	74			
*	74			
*	71			
*	66			
*	65			
*	65			
*	64			
*	61			
*	61			

小学校6年算数（全体）



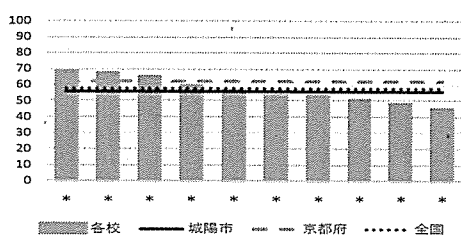
小学校6年算数（数と計算）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68.4	61.7	66.2	63.1
*	68.3			
*	67			
*	64.5			
*	59.9			
*	58.1			
*	58.1			
*	57.7			
*	55.4			
*	51.7			

小学校6年算数（数と計算）



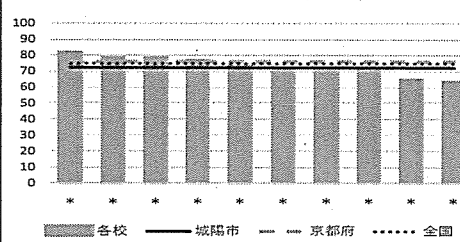
小学校6年算数（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	66.3	56.2	62.2	57.9
*	65.6			
*	63.5			
*	57.9			
*	54.5			
*	51.7			
*	50.9			
*	49			
*	46.3			
*	43.5			

小学校6年算数（図形）



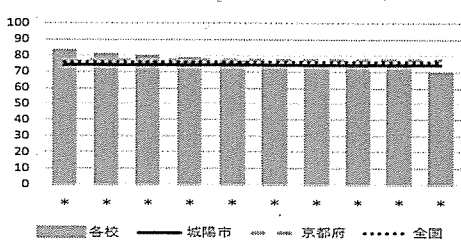
小学校6年算数（測定）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	80	72.1	75.8	74.8
*	76.7			
*	76.6			
*	74.9			
*	71.7			
*	70.6			
*	69.7			
*	69.2			
*	62.7			
*	61.4			

小学校6年算数（測定）



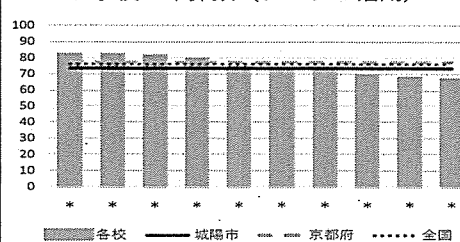
小学校6年算数（変化と関係）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	81.1	74.4	77.2	75.9
*	78.7			
*	77			
*	75.8			
*	74.3			
*	71.7			
*	71.6			
*	71.5			
*	70.1			
*	67.1			

小学校6年算数（変化と関係）



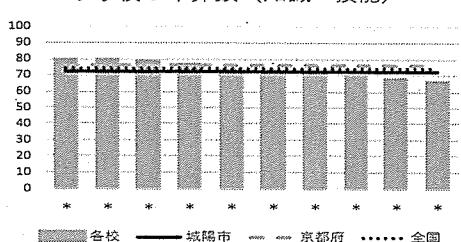
小学校6年算数（データの活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	80	73.6	77.4	76
*	79.5			
*	79.2			
*	77.2			
*	72			
*	71.8			
*	69.8			
*	67			
*	66			
*	64.7			

小学校6年算数（データの活用）



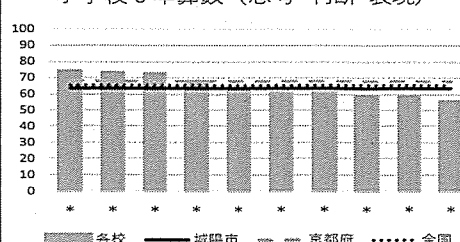
小学校6年算数（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	77.4	72.1	76.3	74.1
*	77.4			
*	76.5			
*	74.5			
*	71.5			
*	70.6			
*	69.6			
*	68			
*	66.1			
*	63.8			

小学校6年算数（知識・技能）

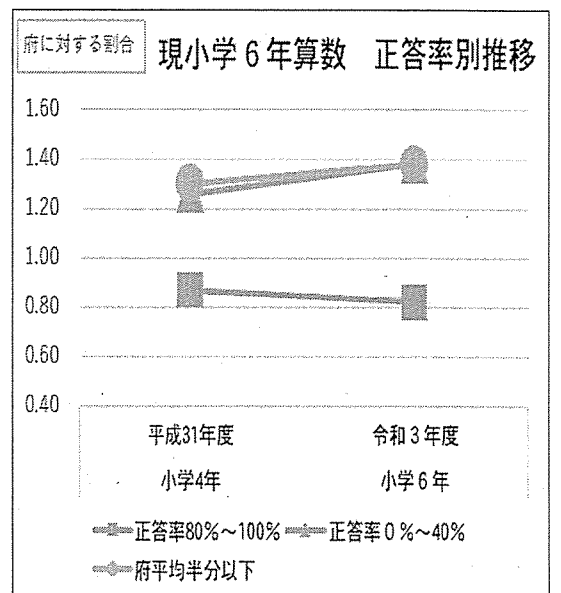
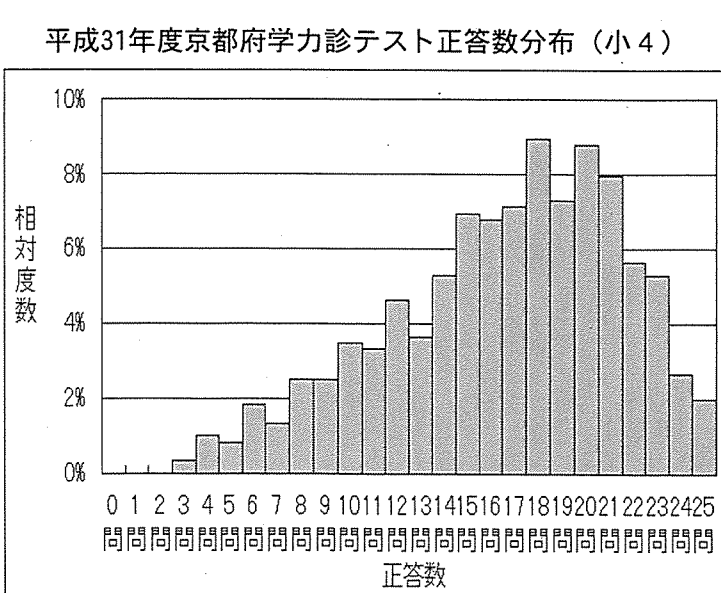
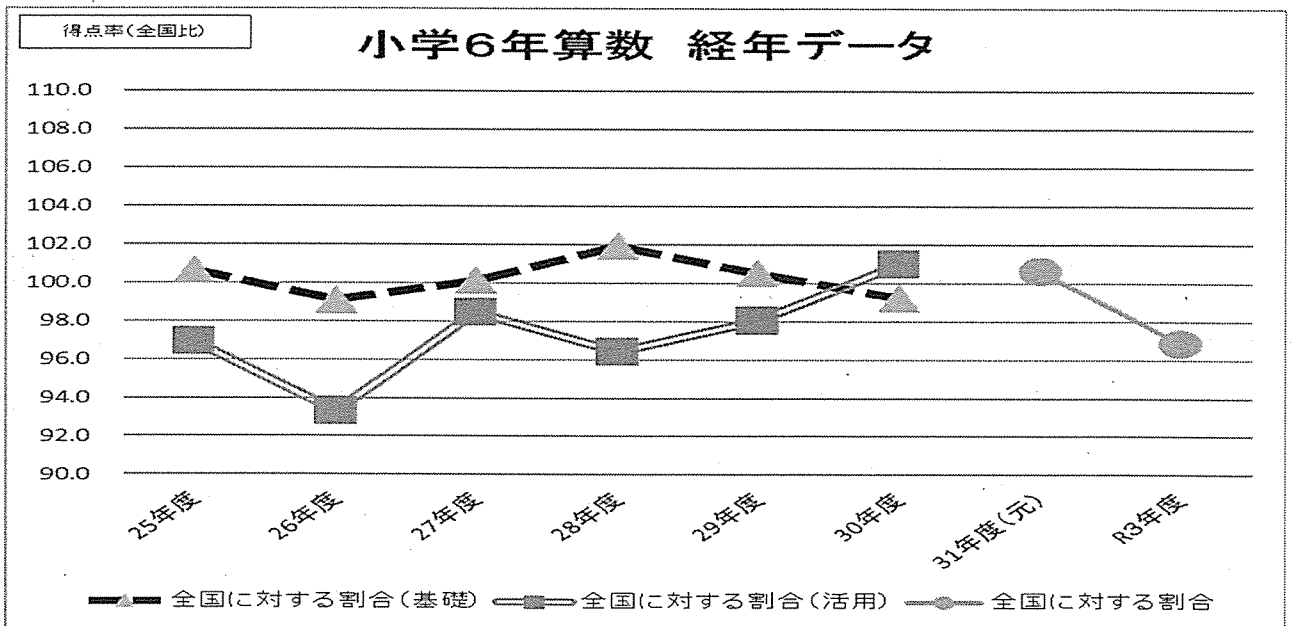
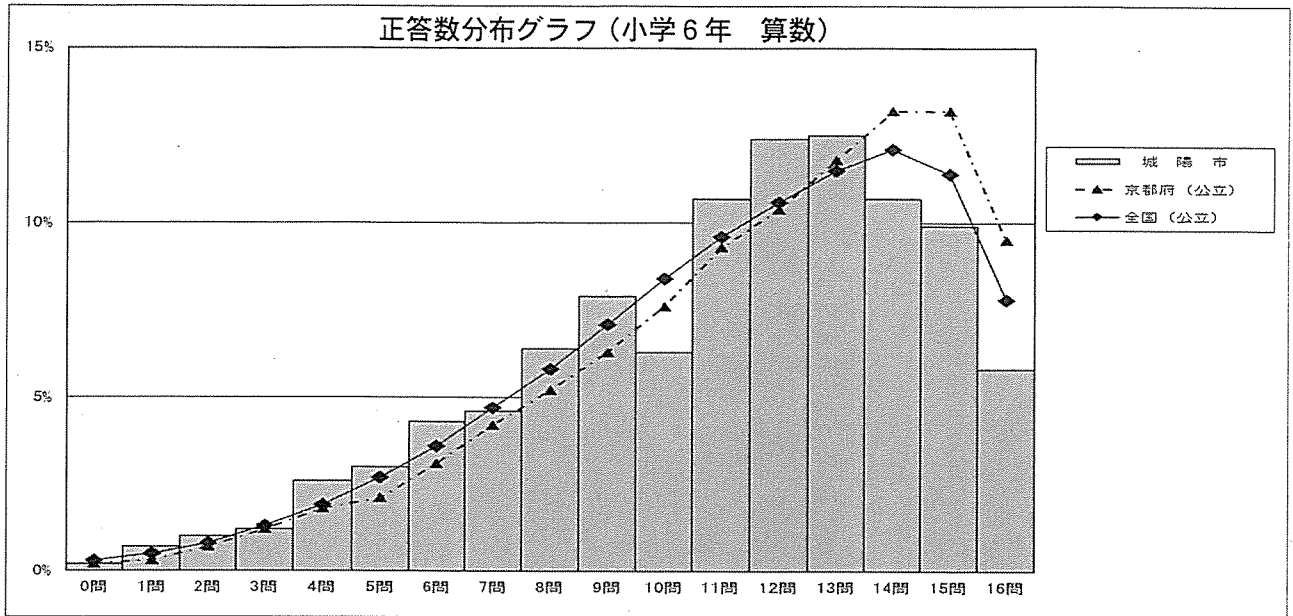


小学校6年算数（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	72.4	63.5	67.7	65.1
*	71			
*	70.2			
*	65.7			
*	59.7			
*	59.2			
*	56.8			
*	56.5			
*	53.5			

小学校6年算数（思考・判断・表現）



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

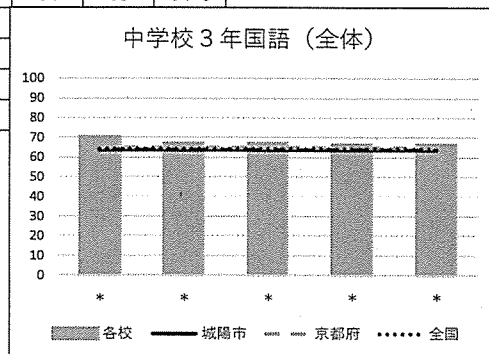


6 中学3年（国語）の結果

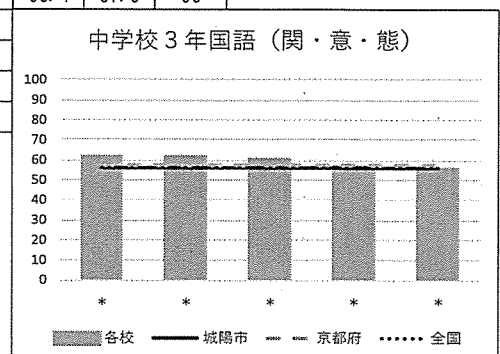
- ・城陽市の平均は、京都府平均及び全国平均とほぼ同程度の結果となっています。また、領域では、「関心・意欲・態度」「書く」については、やや全国平均を上回っています。
- ・正答率別推移では、平成28年度の小学4年、平成31年度の中学1年で受検した京都府学力診断テストと比較すると、高位層については増加し、低位層については小学4年から中学1年にかけて減少し、中学3年にかけて増加しています。
- ・文章の内容や構造を理解して必要な情報を取り出すだけでなく、既存の知識や様々な経験と結びつけて、生徒一人一人の考えを広げることが求められます。

(1) 結果の状況

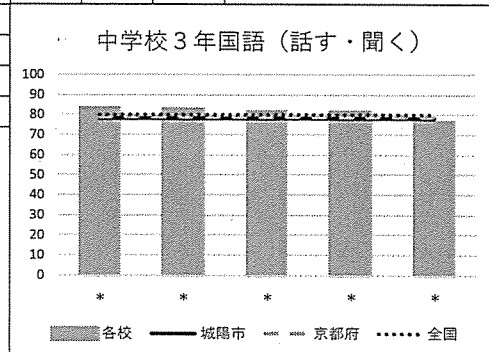
中学校3年国語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	67	64	65	64.6
*	64			
*	64			
*	63			
*	63			



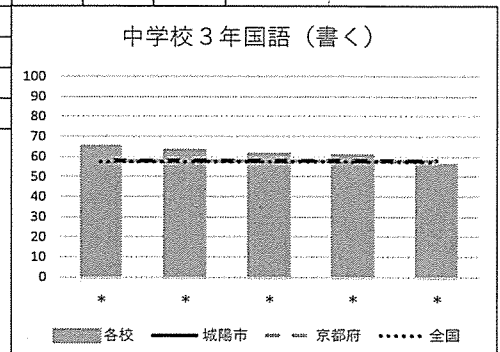
中学校3年国語（関・意・態）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	58.8	56.4	57.6	56
*	58.6			
*	57.4			
*	53.4			
*	52.5			



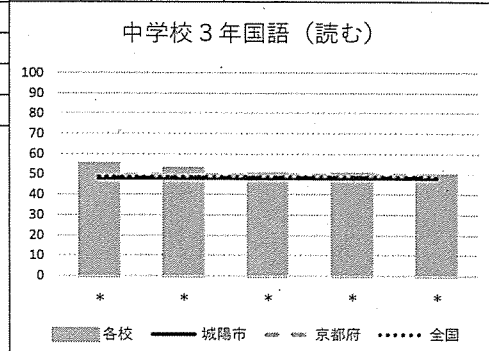
中学校3年国語（話す・聞く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	80.1	78.2	78.9	79.8
*	79.5			
*	78.4			
*	78.2			
*	73.4			



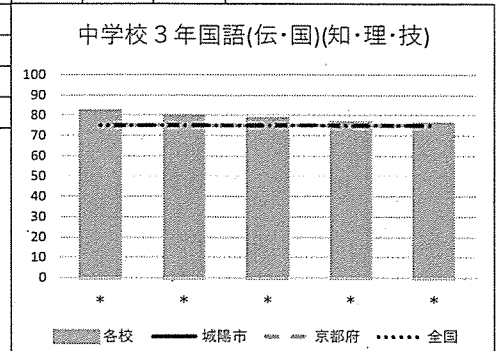
中学校3年国語（書く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	61.7	57.7	57.9	57.1
*	59.6			
*	58.2			
*	57.4			
*	52.7			



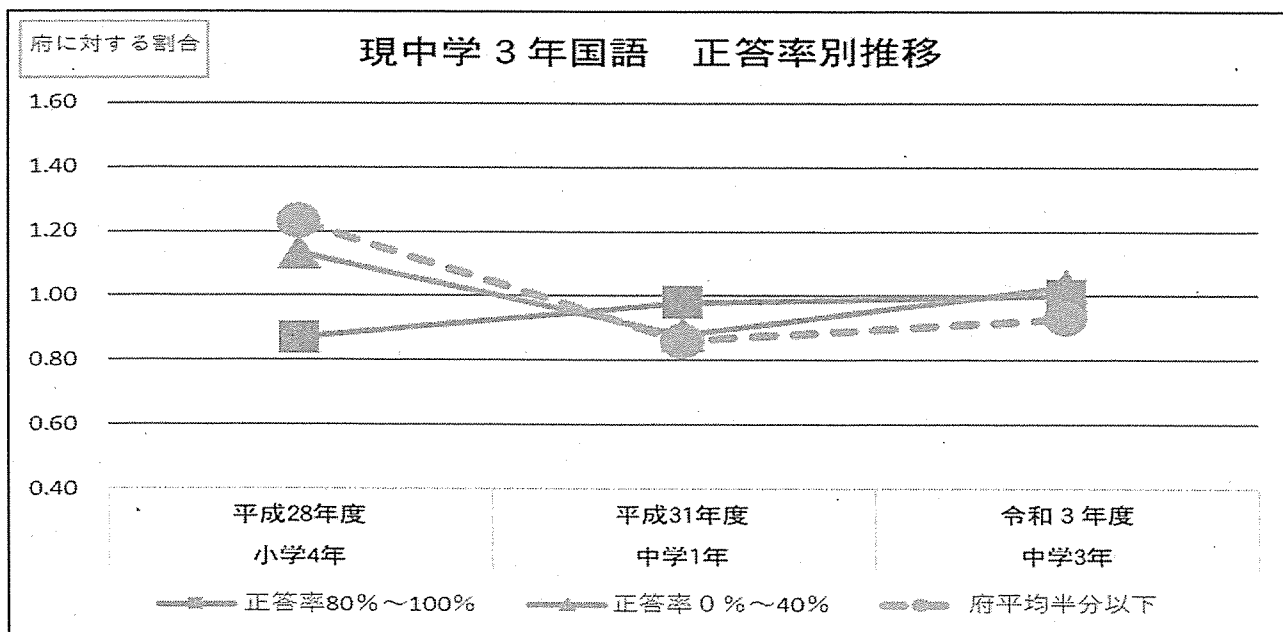
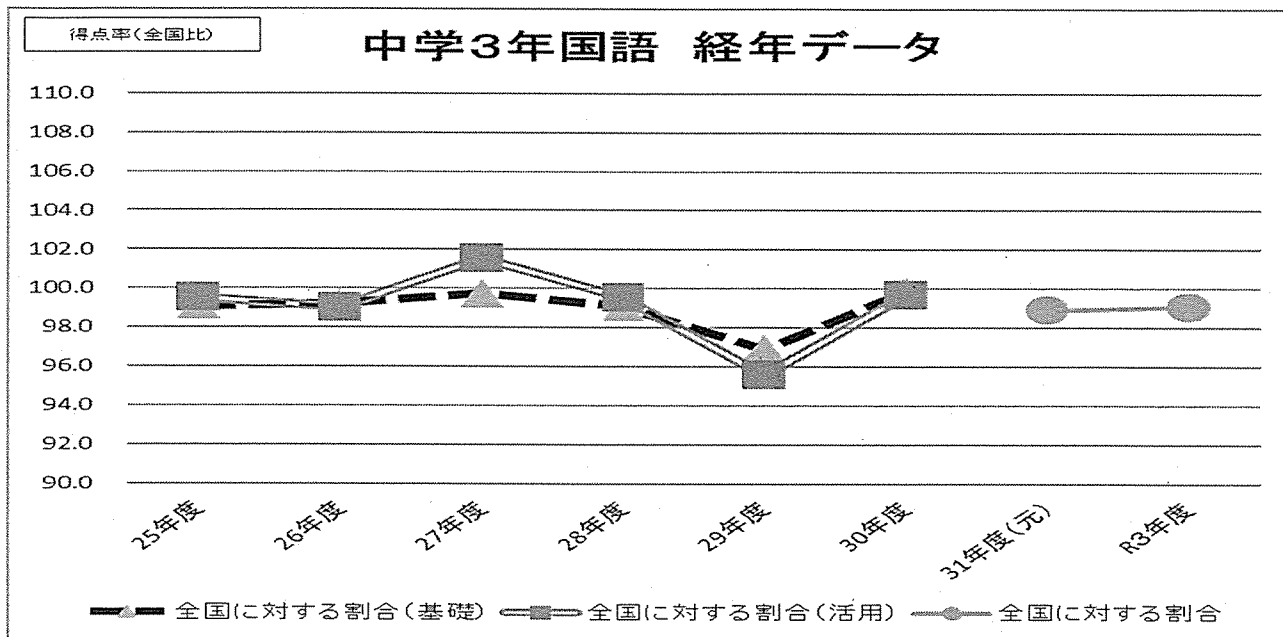
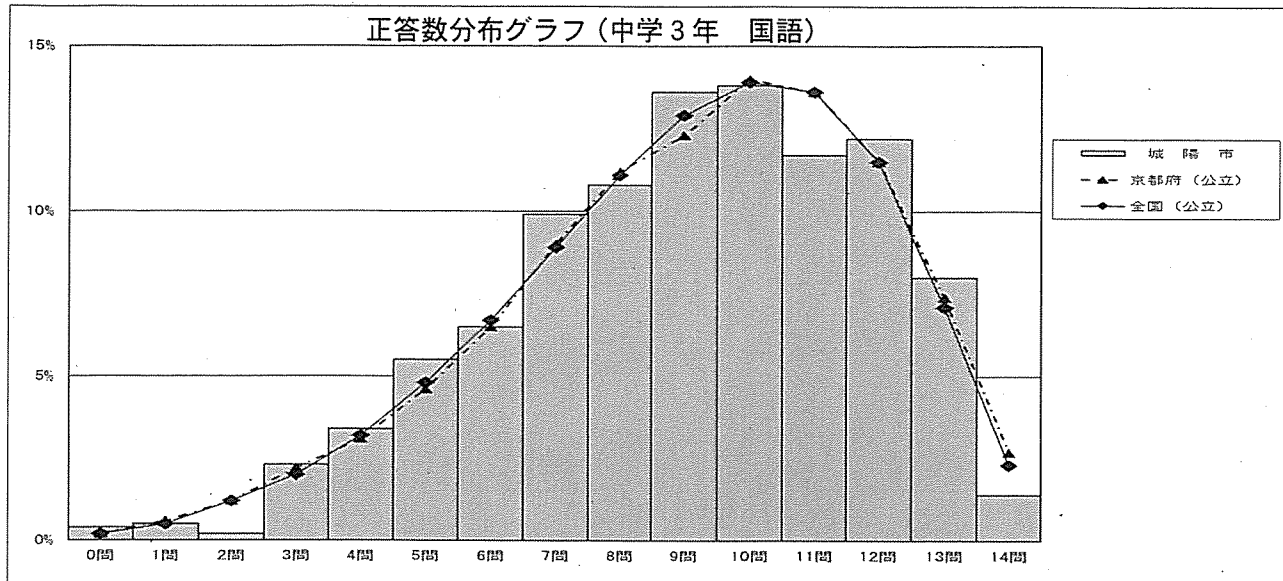
中学校3年国語（読む）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	52.1	48.4	49.3	48.5
*	49.6			
*	47.2			
*	46.8			
*	46.6			



中学校3年国語（伝・国）(知・理・技)				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	79	75	75.2	75.1
*	76.3			
*	75			
*	73.4			
*	72.7			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

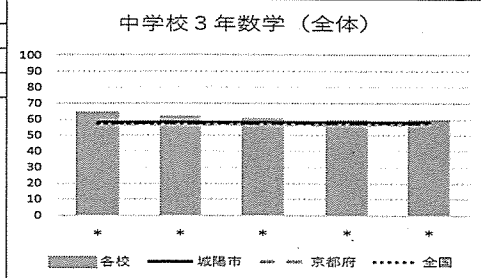


7 中学3年（数学）の結果

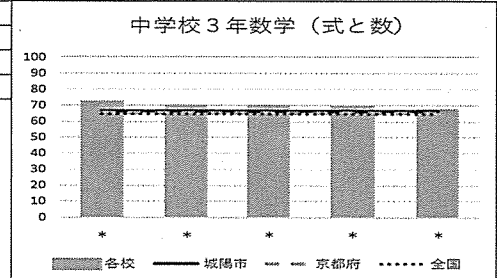
- ・城陽市平均は、京都府平均及び全国平均より、上回る結果となっています。領域においても「資料の活用」「知識・理解」以外の項目で上回っております。
- ・正答率別推移では、平成28年度の小学4年、平成31年度の中学1年で受検した京都府学力診断テストと比較すると、高位層は小学4年から中学1年にかけては減少し、中学3年にかけて増加しています。また、低位層が減少してきております。
- ・生徒一人一人が、問題解決の方法を数学的に説明したり、総合的・発展的に考察したりするなど、「数学的な見方・考え方を働かせた言語活動の充実」も求められます。

(1) 結果の状況

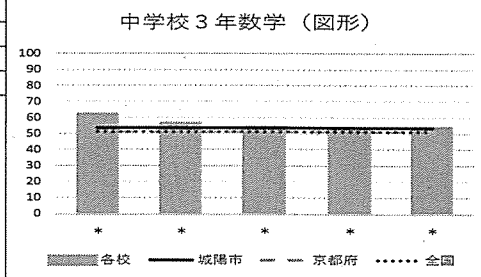
中学校3年数学（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	61	58	57	57.2
*	58			
*	57			
*	56			
*	56			



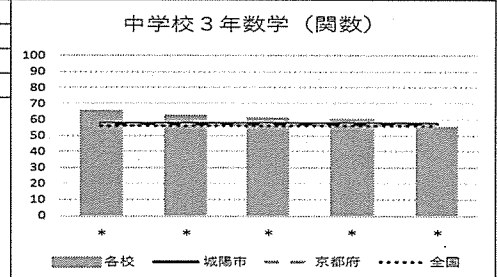
中学校3年数学（式と数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68.8	66.6	65.3	64.9
*	66.6			
*	66.4			
*	66			
*	64			



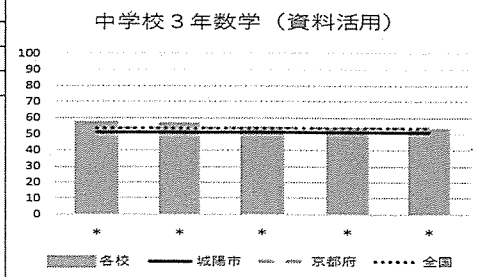
中学校3年数学（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	59.5	53.4	51.3	51.4
*	52.8			
*	51.5			
*	50.8			
*	50.5			



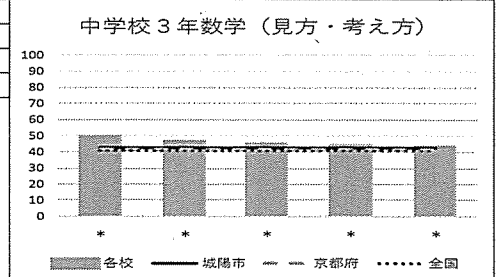
中学校3年数学（関数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	61.7	57.2	56.5	56.4
*	58.9			
*	57.4			
*	56.6			
*	51.8			



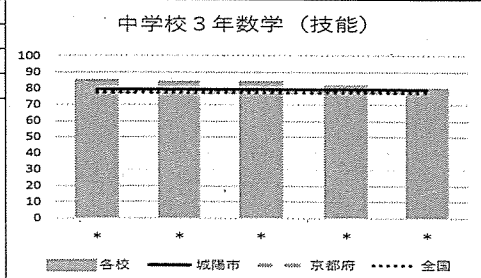
中学校3年数学（資料の活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	53.8	51.5	53.6	53.8
*	52.9			
*	50.4			
*	50.2			
*	49.4			



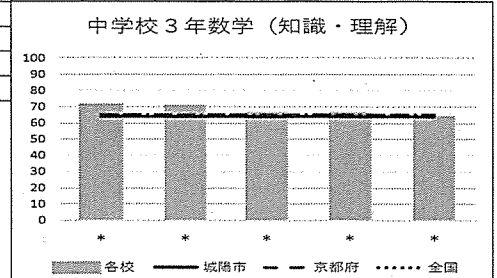
中学校3年数学（見方・考え方）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	46.1	42.8	41.3	41.1
*	43.3			
*	41.8			
*	40.9			
*	40.3			



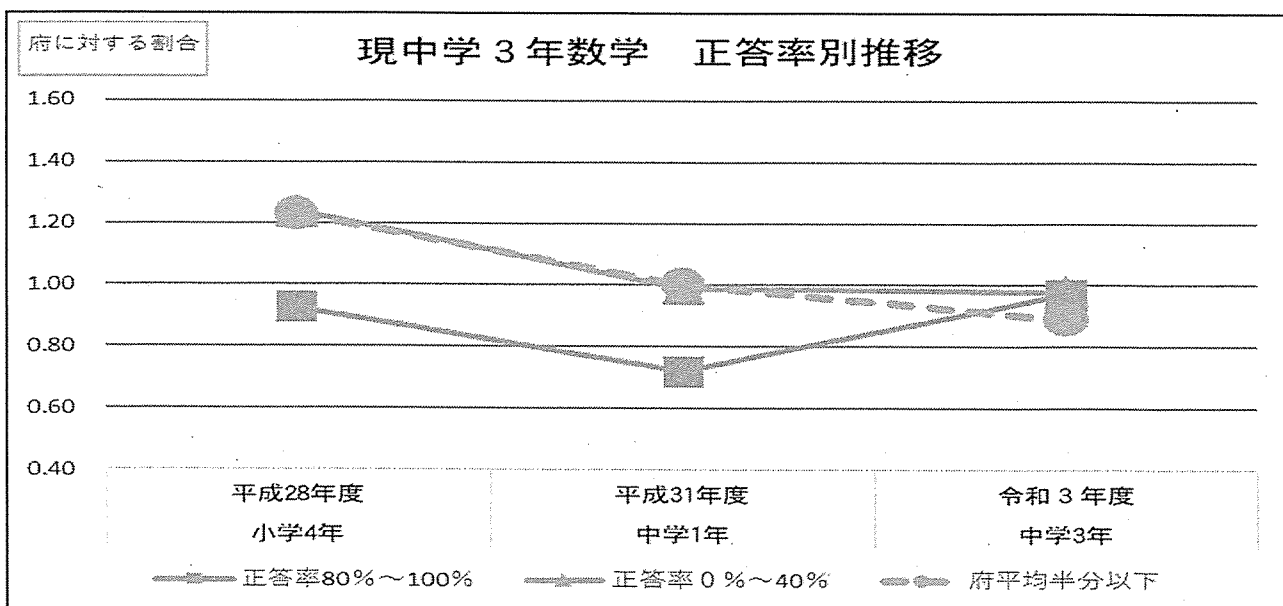
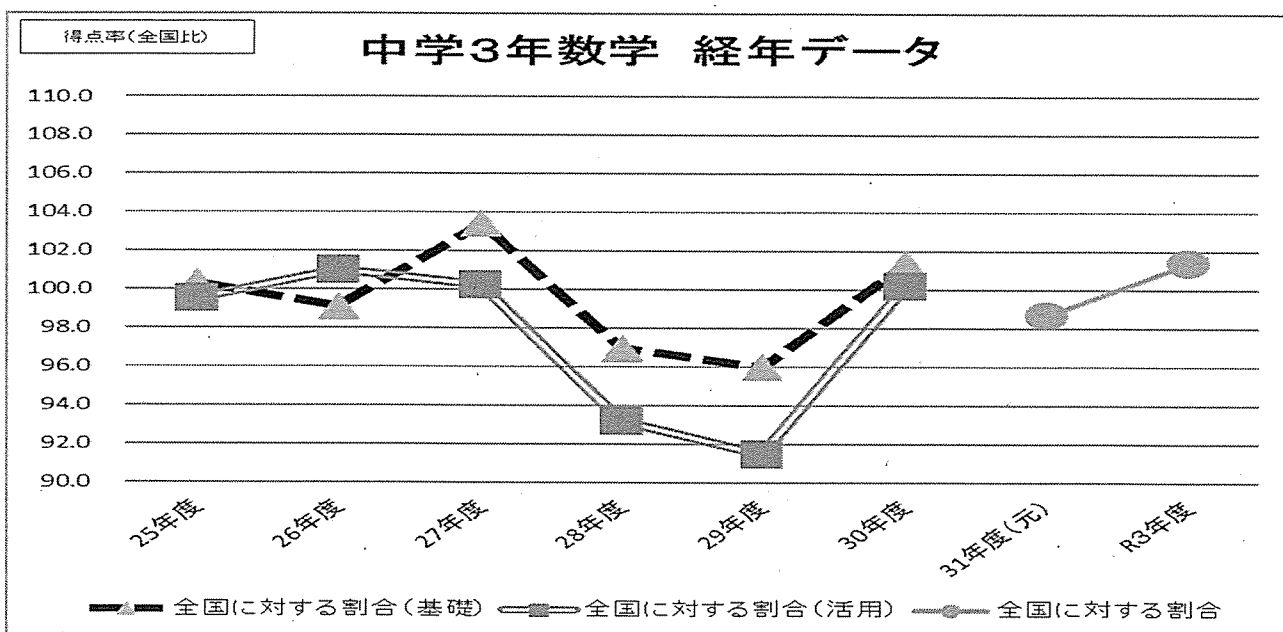
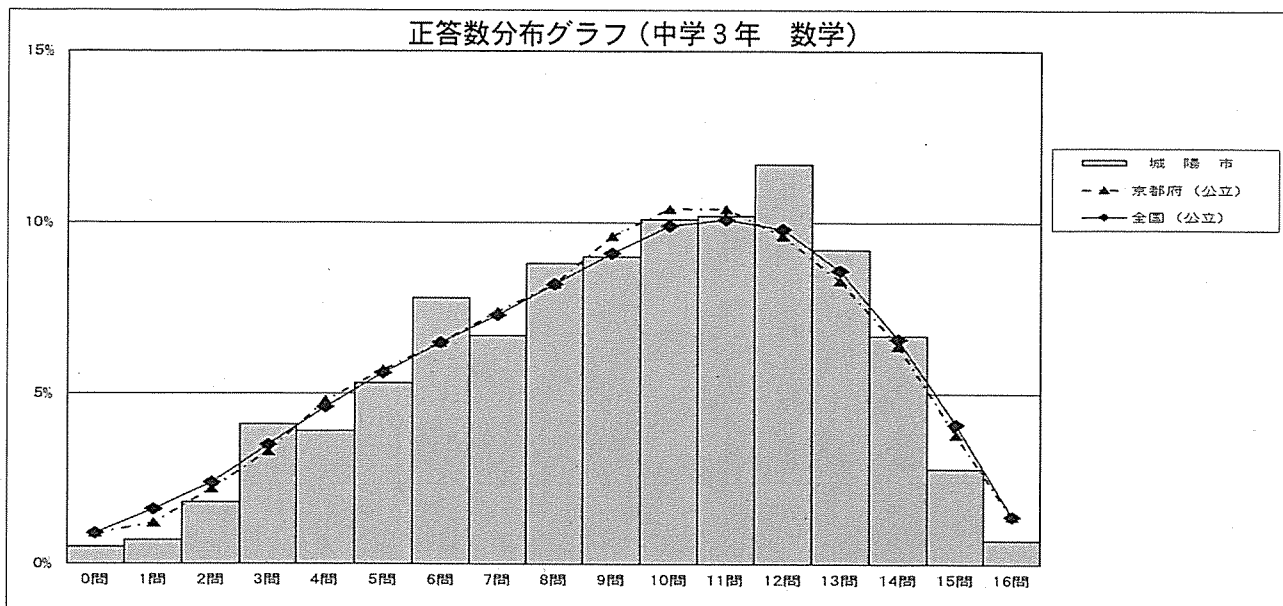
中学校3年数学（技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	81.6	79.5	77.8	77.7
*	80.9			
*	80.4			
*	77.9			
*	76.5			



中学校3年数学（知識・理解）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68	64.3	65.5	65.6
*	67			
*	63.1			
*	62.7			
*	60.2			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移



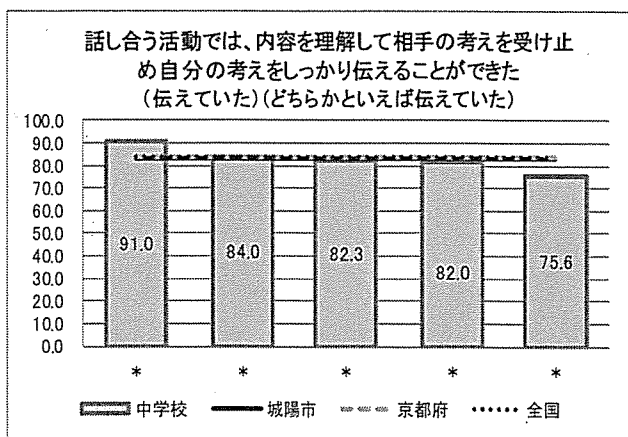
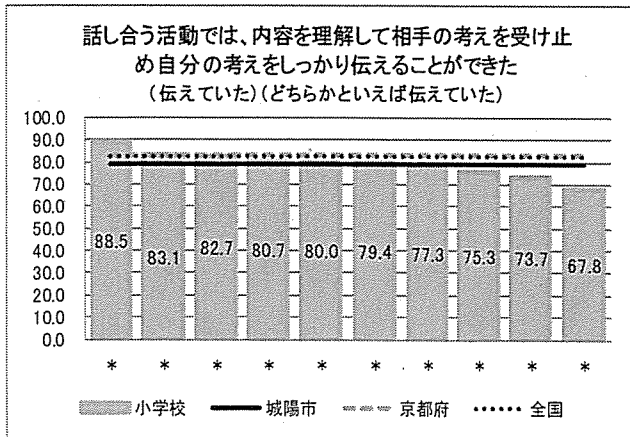
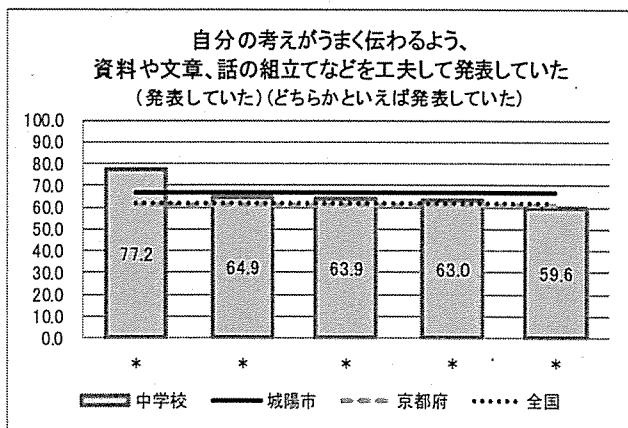
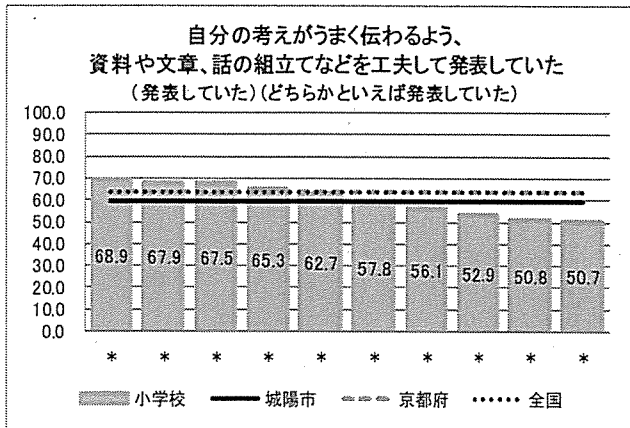
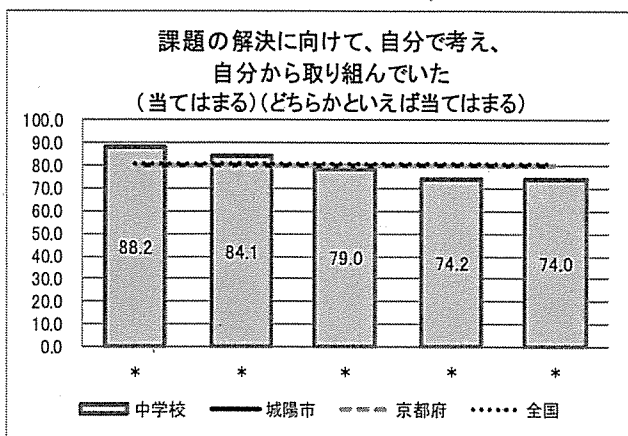
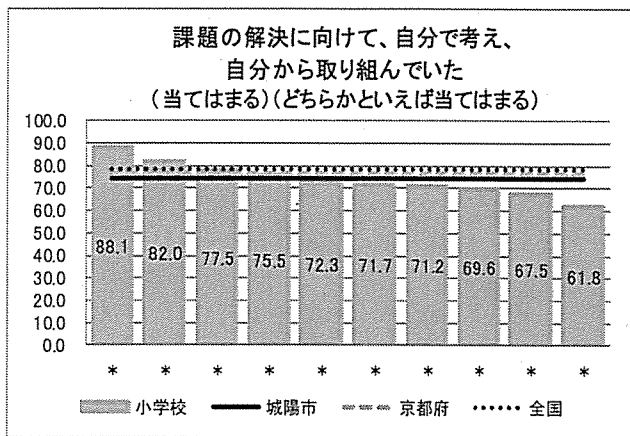
8 質問紙の調査結果（小学6年・中学3年）

(1) 授業について

・授業についての項目では、城陽市の平均として、小学6年では京都府平均及び全国平均を下回る結果となっており、中学3年では京都府平均及び全国平均とほぼ同程度の結果となっています。

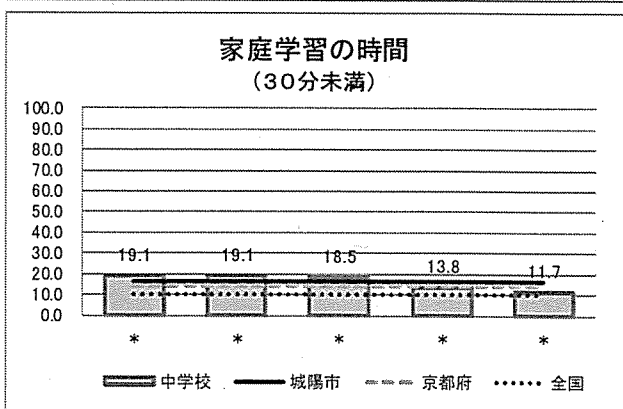
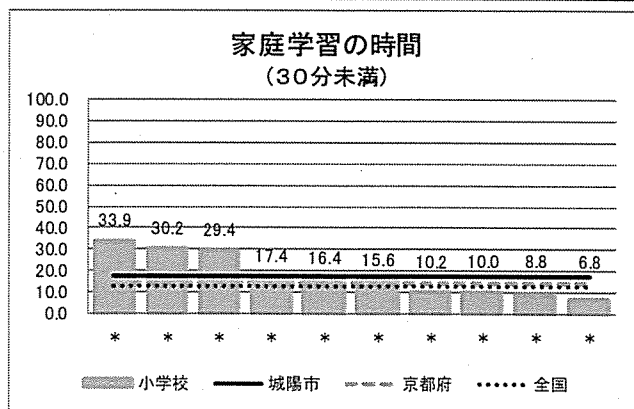
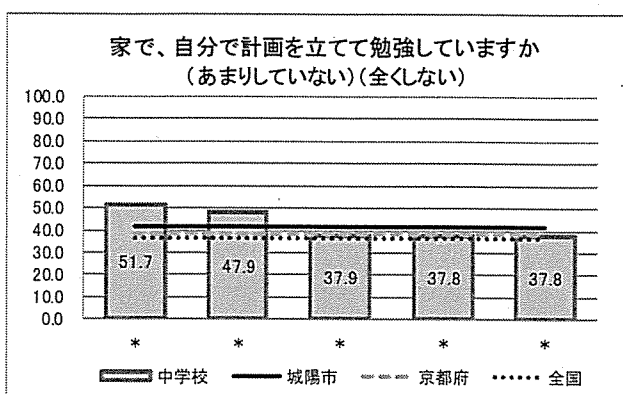
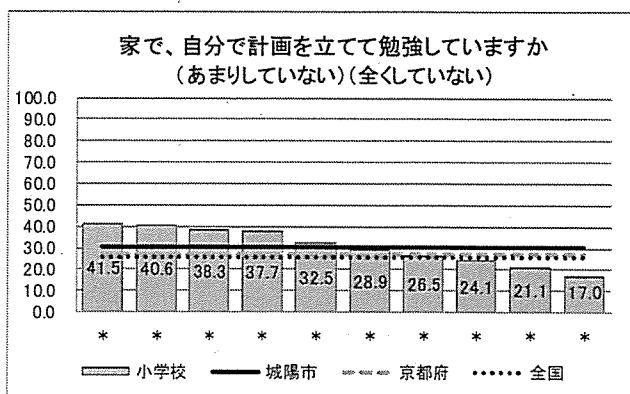
・「認知能力」と「非認知能力」を一体的に育み、「振り返り」を充実させることで、子ども達自身が授業の中での学びを実感し、自分で考え、自分から取り組む態度の育成が求められます。

・「主体的・対話的で深い学び」を実現するために各校でテーマを設定し、学習形態や言語活動が形式的にならないよう、学習課題の工夫や効果的で意図的な対話や発表の時間の設定がより求められます。



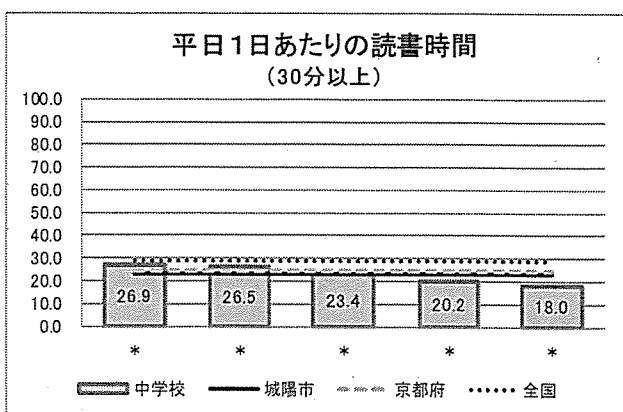
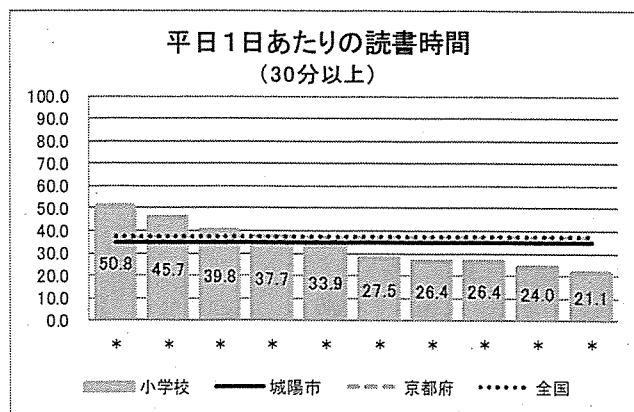
(2) 家庭学習について

- ・子ども達が家庭でも計画的に学習できるよう、学習習慣を身に付けさせると同時に、学びに向かう力を育成することが求められます。また、各校で作成している「家庭学習の手引き」等を子ども達自身が有効活用できるよう、手立てを講じる必要があります。
- ・平日（月～金曜日）の家庭学習の時間が、「30分未満」または「全くしない」と回答した割合は、城陽市の平均として、小学6年、中学3年ともに京都府平均及び全国平均より高い割合となっており、家庭学習時間の充実が求められます。



(3) 読書習慣等について

- ・中学3年の平日1日あたりの読書時間は、京都府平均と比較すると同程度ではありますが、全国平均と比較すると下回っています。小学校では、本に親しませる取組を充実させているところですが、学校間の差が大きいことが課題となります。
- ・読書週間の取組など図書館教育の充実及び学校図書館司書やボランティアの活用を通して、より



(4) 生活習慣等について

- ・「朝食を毎日食べますか」の問いに対し、小学6年、中学3年ともに城陽市は京都府平均及び全国平均とほぼ同程度となっています。
- ・「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに対し、城陽市は京都府平均及び全国平均と比較すると、小学6年では寝ることができている児童が少なく、中学3年では寝ることができていると言えます。
- ・「平日1日あたり、テレビゲームをどれくらいしますか」の問いに対し、小学6年では京都府平均及び全国平均と比較すると、ゲームをしている児童が多く、中学3年では京都府平均とほぼ同程度となっており、全国平均と比較するとゲームをしている生徒が少ないと言えます。また、学校間の差が大きいことが見受けられます。
- ・家庭学習の取組を進める中で、子ども達自身に基本的な生活習慣の確立について指導するとともに、それぞれの家庭と連携を密に図ることが求められます。

